

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

2007年8月15日

主にある兄弟姉妹の皆さん

日本聖公会首座主教 ナタナエル 植松 誠
正義と平和委員会 委員長 ダビデ 谷 昌二

8・15 平和メッセージ

平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。 マタイ 5の9

主の平和が、皆さんとともにありますように。

今年も、日本が自ら起こした侵略戦争に敗れた日、8月15日を迎えます。敗戦とは言え、人権を蹂躪し、人命を屑のようにして世界を巻き込んだ戦争が終わったことに、どれほど多くの人々が、深く安堵の胸をなでおろしたことでしょう。「戦争はもう嫌だ!」「二度と戦争はしたくない!」 殺すことも、殺されることも、もう止めよう。この強い決意のもとに、私たちの「憲法」が施行されました。

一人一人の命が尊ばれ、その権利は誰からも侵されてはならない。特に、国家は、この人権を守るものであって、権力によって人権は侵されてはならないことを明記し、これを基礎に、国民を巻き込むいかなる戦争も放棄し、軍備を持たない国になることを誓い、世界の国々がこの精神を生かすことを呼びかけたのです。

戦後62年、私たちの国は、今、大きな曲がり角を迎えています。「平和憲法」のもとにあるにもかかわらず、自衛隊は世界でも屈指の軍備を有し、冷戦終結後の米軍世界戦略にわが国を巻き込む「米軍再編特別措置法」が制定され、日本各地で自衛隊と連動させながら米軍基地の再編・強化が始まっています。更に、教育現場では日の丸、君が代の強制が私立学校にまで及ぼされようとしています。また、憲法を教育の柱にするべく制定された「教育基本法」の改定も強行採決され、最後の砦となる「憲法」を変えるための「国民投票法」が強行採決、制定されました。国益を人権の上に置き、国家権力で人権を縛って国民・財産を戦争の道具とし、自衛隊を自衛軍に格上げして、正々堂々と戦争ができる国へとあと一步のところまで追い込まれています。

私たち主イエスを信じ、主イエスの十字架によって罪が赦され、ご復活の主イエスの新しい命に生かされている者として、何もしないでこの時を過ごすことができるのでしょうか。「目を覚ましていなさい。」マタイ24:42他 わが国のことばかりでなく、今、世界で何が行われているか、しっかりと目を覚まして見つめましょう。戦争・軍隊によっては平和が構築できないことが、各地で明らかにされています。世界の貧困、飢餓、病気、人権の蹂躪などの解決を目指す「人間の安全保障」こそが、平和への道です。

私たちは、聖餐式で主イエスの肉と血にあずかった後、感謝して祈ります。

「・・・主はこれによって、わたしたちがみ子のからだのえだであり、み国の世継ぎであることをいよいよ明らかにしてくださいました。天の父よ、わたしたちはみ子によって、心もからだも生きた供え物としてさげます。どうか聖霊によってわたしたちをこの世に遣わし、み旨を行う者とならせてください。・・・」

私たちは、み子のからだに結ばれて、神の国が成就することを目指して歩んでいます。一人一人の命が神によって無限に愛され、大事にされる国です。その喜びがあって、神にすべてを捧げ、委ねることができるのです。現実はいかに厳しいものであっても、神の国は始まっています。聖霊の力によって、わたしたちをこの世に遣わし、み旨を行わせてください、平和がこの地に実現しますようにと、真剣に祈り求めていきましょう。